

転倒事故に  
要注意!

幼児乗せ自転車

を

安全に利用するために

子どもを乗せるときは「被せる・締める」



- 1 乗せる前にヘルメットを被せる<sup>かぶ</sup>
- 2 被せたらあごひもを締める<sup>かぶ</sup>
- 3 乗せたらシートベルトを締める<sup>し</sup>

✓ 前座席は不安定になりやすく、  
転倒のおそれがあります

転倒を防ぐためのポイント

- 傾斜や凹凸のない場所に停車
- 荷物はバランスよく配置
- 子どもの乗車後は、目や手を離さない



前座席でのケガは  
後ろ座席の約6倍!

小さな段差は大きな危険

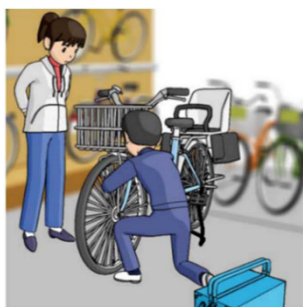


✓ 車道と歩道の段差の  
乗り越えは、特に注意!

避けられないときは...

速度を落とし、できるだけ大きな角度をつけて  
乗り越えましょう

## ブレーキの点検・保守



- ✓ 幼児乗せ自転車は重く、ブレーキパッドが擦り切れやすい
- ✓ 一般用自転車と同じように、乗る前の点検や定期点検は忘れずに

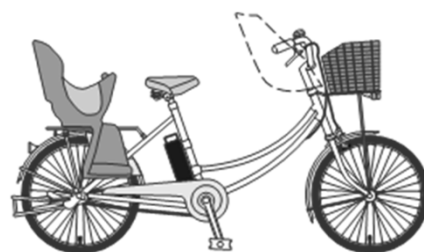
### これから幼児乗せ自転車を 購入される方へ

子どもの人数に適した自転車を選ぶことで、ハンドルのふらつきを抑え、転倒の危険が少なくなります。



子ども**1人**乗せの場合

「**後ろ乗せタイプ**」  
を選びましょう



▲ 座席は後部に装備

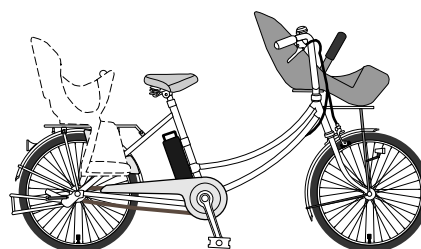
Q. 後から2人乗せにしたい場合はどうする？

A. 後付けの前座席をハンドルに引っ掛けて設置します。運転席周りのスペースに余裕のある自転車を選んでおきましょう。



子ども**2人**乗せの場合

「**前乗せタイプ**」に、  
後ろ座席を後付けしましょう



▲ 座席はハンドル中央部に装備

⚠ 前カゴがないものが多いため、荷物の載せ方には注意が必要です。

※ 本チラシのイラストは消費者安全調査委員会より提供を受けたものです。

